

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策 : 06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	保険年金課長熊谷明美、健康づくり政策課長和川早苗、児童福祉課長藤島紀子、生活福祉課長下佐貴宏、地域福祉課長滝田律子、地域包括支援センター森智美

1. 基本施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は重要な条件の一つであり、病気や障がいがあっても個々の考える健康の実現は幸せにつながります。市民一人一人が「健康」に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるような環境を目指します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない多様な支援を行うことで、子どもの健やかな成長や安心できる子育てにつながります。</p>
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	58.5	60	61.5	63	65	65	C
			62.7	58.9	59.4	60.9	60.9	36.9
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
2	暮らし 02060200 安心して子どもを産み育てるための支援 子育ての悩みや不安を相談できる人がいる(いた)人の割合 単位 %	83.2	83.2	83.2	83.2	83.2	83.2	D
			63.3	58.2	88.1	81.6	81.6	0.0
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘 睦子
関係課長職・氏名	保険年金課長熊谷明美、健康づくり政策課長和川早苗、児童福祉課長藤島紀子、生活福祉課長下佐貴宏、地域福祉課長滝田律子、地域包括支援センター森智美

2. 基本施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患の要因となる高血圧予防のため、ウォーキングマップを活用した新たな運動教室の開催や減塩の取組等を推進しました。 がん予防のため、市民が安心して検診を受けられる環境づくりと検診申し込みはがきの改善等受診率向上に取り組みましたが、受診率は横ばい傾向であり、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。 がん患者支援のため、医療用ウィッグ費用の一部助成を開始しました。 安心して子どもを産み育てることができるよう、産婦健康診査や産後ケア事業を開始しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】・高血圧予防の啓発の継続 ・安心して検診を受けられる環境づくりと受診率向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊産婦への産前産後の支援体制の充実 <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き世代が参加しやすい運動教室の開催や事業所の健康づくり事業を通じた運動や休養の重要性を啓発しました。 各がん検診については、受診勧奨と検診申し込みはがきを改善し、一部のがん検診は前年より受診率が向上しました。 出産・子育て応援事業を新たに開始し、妊産婦への支援体制が強化されました。 	

3. 基本施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、個人及び地域活動が活発になることが見込まれます。 一方で、ここ数年蔓延した感染症の影響や経済状況の変動に伴い、肥満や生活習慣病の悪化、ストレスによる心の病気の発症、高齢者では認知機能の低下が心配されます。 未婚や若年等支援が必要な妊婦が増加傾向にあり、産後支援の必要性が増大しています。 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月に策定した「たきざわ健康プラン21」（第3次滝沢市地域保健計画）の目標である「健康寿命の延伸」を目指し、健康への意識を高め、引き続き健康づくりに取り組みやすい環境を整えていきます。 「すこやか親子たきざわ」（第2次滝沢市母子保健計画）に基づき、妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化に努めます。 <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検診の受診率向上に向けた効果的な取組 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する体制整備 産後ケアの実施体制の強化、子ども家庭センター設置に向けた検討 	

